

## 北進小中学校 「キャリアパスポート」の手引き

文部科学省が2020年4月から全ての小・中・高・特別支援学校において「キャリアパスポート」を導入する方針を決めました。「キャリア」とは、就業体験や進路指導のように狭義の意味ではなく、キャリア形成のために必要な様々な能力を育てていくものであり、**学校の教育活動全体を通して行うもの**と考えています。

### ◇ 「キャリアパスポート」の目的

- ・自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりすることで、子どものキャリア形成に役立てる。
- ・教師は子どもの記述をもとに対話的に関わり、教師の系統的な指導に役立てる。

### ◇ 「キャリアパスポート」の定義

- ・特別活動、総合的な学習の時間、道徳、自立活動を中心に**教科横断的な指導**をする。
- ・自分の変容や成長を自己評価できるようなポートフォリオ形式とする。
- ・大人(家族や教師、地域住民)が対話的に関わることで自己のキャリア形成に生かす。

### ◇ 様式

- ・小学校から高校まで持ち上がることを踏まえ、各シートA4伴に統一する。
- ・各学年での蓄積は5枚以内としキャリアパスポート専用ファイルに綴じる。

### ◇ 取り組み方

- ・キャリア教育の視点でふるさと教育を推進し、自己選択・自己決定を重視する。
- ・地域素材を用いて児童生徒に身近な内容にする。
- ・子ども版の「個別の教育支援計画」(イエローファイル)として捉え、個々の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた記録や蓄積となるようにする。

## ◇ 活用にあたっての配慮事項

- ・記録を用いての話し合いや自己決定を行うなどの学習過程を重視する。
- ・視覚的にわかりやすい記録に配慮する。(写真・文字)
- ・事前・事後指導で目標設定や自己評価をサポートするツールとして使う。

## ◇ 対話的な学習の実現に向けた教師の関わり

- ・児童生徒が自分の記録を発表したり、仲間や大人と話し合ったりする場面を設定する。
- ・自己有用感や自己変容の自覚に結び付けられるような対話が重視されるようにする。
- ・「他者からのメッセージ欄」を通して、子どもの成長を促す。
- ・相互評価や系統的な指導を工夫する。

## ◇ 管理と引き継ぎ

- ・「キャリアパスポート」の管理は原則、学校で行うこと。
- ・個人情報保護や記録の紛失に十分留意すること。
- ・学年間(小・中)の引き継ぎは、原則、教師間で行うこと。
- ・高校への引き継ぎは、原則、生徒を通じて行うこと。